

2022/3/1 社会

* ①抗議デモ 欧州動かす…協力制裁へ軌道修正
独で10万人、英やスペインでも

ロシアのウクライナ侵攻に対する市民の抗議活動が広がってきた。27日にはベルリンで10万人以上が参加し、ロンドンやモントリオールでもデモがあった。ウクライナを支持する市民のうねりはEU当局者の背中を押し、EUは国際決済網からロシア排除などこれまで慎重だった政策にも踏み込んだ。
・EUはロシアがウクライナ国境に兵士を終結させたことに批判、NATOに加盟しないウクライナに軍事支援することには及び腰だった。武器を供与したのはバルト3国等の一部だった。

2022/3/1 社会

* ②

・ロシアがウクライナ東部の親口派地域の独立を承認すると、EUのミシェル大統領らは声明で批判、だがSWIFT(国際銀行間通信協会)からのロシア排除は依然として慎重だった。ロシアがウクライナに侵攻し、EU各国も厳しい制裁で米・英と足並みをそろえた。SWIFTの排除、ロシアの中央銀行の外貨準備を凍結し、為替介入を難しくする前例のない制裁で強調。
・軌道修正の一因はロシアの軍事行動が、欧州の市民に強い衝撃だった。世界中でデモが発生し、SNSでウクライナとの連携を訴える声が高まった。
・独は第2次大戦の反省で紛争地への武器輸出は禁止だったが、携帯型地对空ミサイルなどの供与や自国の防衛費の大幅増額を決めた。
・もともと中立国で紛争中の国には武器を供与しないスウェーデンは武器や装備品を供与する。ウクライナの防衛能力の支援は我国の安全保障だ。

2022/3/1 社会

* ①2度上昇、30億人水不足も…食糧や生物、深刻な打撃
IPCC、機構変動の報告書

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は28日、気候変動による影響や対応策を分析した報告書を公表。産業革命前に比べて気温が2度上昇で、今世紀までに干ばつなどで慢性的な水不足に陥ると予測。食糧生産や健康、生物種への悪影響は気温上昇が進むほど大きくなると警鐘を鳴らしている。

2022/3/1

* ②

◎ IPCCが評価した気候変動の悪影響
現在まで⇒人為的な気候変動が自然や人々に悪影響を与えている。
・世界人口のおよそ半分が1年のある期間に水不足を経験。
・感染症が増加。精神、心臓、呼吸器の疾患とも関連。
今世紀半ばまでに⇒1.5度以上の温暖化で熱波と干ばつの同時発生が増加、健康や食糧生産のリスクに。沿岸にすむ10億人以上に洪水リスク。漁業や農業の減少で8千万人が飢餓に苦しむ。
今世紀末までに⇒2~3度の気温上昇で、最大12.7兆ドルの資産が洪水被害を受ける可能性。2度の温暖化で最大30億人が慢性的な水不足を経験。

2022/3/1 東南アジア

* 中国の調理ロボット 五輪で普及弾み…27兆円市場、人手不足補う
振興・上海愛餐、大阪王将にも納入

中国で自動調理ロボットが普及期に入ってきた。振興の上海愛餐ロボット集団は北京冬季五輪の会場への導入も追い風に、同国外食大手や中華飲食チェーン「大阪王将」に納入を決めた。少子高齢化に伴う人材不足が続くなか、中国の調理ロボット市場は2023年に27兆円規模に拡大する見通し。スマホが主流で、レストランの無人化がさらに進みそうだ。
・課題も残る。調理ロボットは盛り付け、肉や野菜のカットはできない。調理できるメニューも限られ、さらなる技術開発が求められる。

2022/3/1 東南アジア

* タイ航空5期ぶり黒字…前期最終 債務整理やリストラで

経営再建中のタイ国際航空が28日発表した2021年12月期の連結決算は最終損益が551億バーツ(約1930億円)の黒字(前の期は1411億バーツの赤字)だった。債務整理や資産売却、リストラによる利益で5期ぶりの黒字。
・タイは21年7月から外国人観光客の受け入れを拡大したが、タイ航空の搭乗客数は20年比7割減の164万人にとどまった。同社は「深刻な感染拡大が続けば再びロックダウンが実施されるリスクがある」と指摘。



2022/3/1 経済

***「夢の技術」へ日本勢結集…グリーン水素、安く供給
トヨタ/日鉄も実証に参画**

太陽光と水、二酸化炭素(CO₂)からなる有用な物質を作る「人工光合成」が注目されている。途中段階の水素の製造では、2030年にトヨタ自動車や日本製鉄も参画する大規模実証が始まり、製造時CO₂を出さない「グリーン水素」を天然ガス由来の方法より安く作ることを目指す。脱炭素の切り札とされる「夢の技術」実現へ、最前線の取り組みと課題を検証する。

◎**大手企業の参画により研究開発が加速する**

「三菱ケミカル、トヨタ自動車、日本製鉄など」＝光触媒方式で2030年実証開始。水素1kgあたりコスト240円以下、50年に170円以下をめざす。

「豊田中央研究所」＝電極方式の人工光合成を研究。1m角の装置で世界最高の変換効率を達成。

2022/3/1 社会

***①ロシア暴走、中国の誤算…日経コメンテーター 秋田浩之**

・習氏は2月4日、プーチン氏を北京に招き「両国の友情に限界はない」とうたった共同声明に署名した。この3週間後、ロシアがウクライナに侵攻し、世界の「悪者」になると知っていたら、習氏はロシアとの連帯をここまで格上げしなかったはず。

米政権は中国側に3か月にわたり、6回接触して侵攻準備の極秘情報を伝えた。ロシアを止めるように、異例の措置に踏み切った。王毅外相にも2回、中国側は最後まで真に受けなかった。中国は本気で真に受けなかった。油断していたようだ。

2022/3/1 社会

***②**

・なぜ習政権はロシアの出兵を読み誤ったのか。対立する米国への対抗上、ロシアとの連携を重視するあまり、プーチン氏を冷徹に観察し、危ない野心に気づくのが遅れてしまったのか。中国の詳しい外交筋によると「習氏の機嫌を損ねるのを恐れ、彼の方針に逆行する情報や分析を側近があげたがらない」。米政権からもたされたロシア侵攻はまさにこれに当たる。

・ところが侵攻が始まった2月24日、中国はロシアを庇う姿勢を鮮明にする。中国外務省の華春宝報道局長は記者会見で、何度聞かれても、ロシアの行為を「侵略」と認めなかった。そのうえで「米国は絶えず緊張を高め、戦争の危険をおおった」と批判。責任の一端を米国にあるとの見解。

2022/3/1 社会

***③**

・この発言を境に、米政権内では中国への反発と失望が広がる。中国がロシアの攻撃を止める可能性が低かったとはいえ、米国は中国に機密情報の提供まで試みた。しかし、中国政府は米側が中口分断を狙っていると解釈し、ロシアに米情報を渡してしまった。中国は立場の微調整に追われている。2月25日、習氏はプーチン氏に電話で交渉で解決を呼びかけ、ウクライナの主権に配慮するよう促した。

2022/3/1 社会

***④**

・問題は今後、中国がどこまで制御し、公正な停戦のため尽力するかである。ロシアをかばう態度を続けるなら、2つの理由で国益は大きく損なわれるに違いない。

第1に米国に成り代わって世界1のリダーになるという国家目標の実現は遠のく。中国は内政不干渉と主権尊重を原則と唱え、米国主導の秩序の異を唱えてきた。この原則を踏みにじるロシアに甘い対応を続けたら、各国の信用を得られるはずがない。

2022/3/1 社会

***⑤**

・第2に、プーチン氏への非難が強まる中、彼と距離を置かなければ、世界から中国まで「悪者」扱いされる恐れがある。国外だけでなく、ロシア国内でも反戦デモが燃え上がっている。ロシア世論を敵に回せば、長期的な中口友好にも火種を残す。

プーチン氏が侵略者になった以上、彼との蜜月は利益よりマイナスが大きいと判断する時だ。

2022/3/3 東南アジア

***ベトナム製油所 株式に不協和音…出光など、資金巡り国営石油と溝
稼働低迷 原油高生かせず**

出光興産などが運営するベトナム最大ニソン製油所で株式企業間に不協和音が生じている。株主の一社である国営石油ベテロベトナムとの意見の相違が資金難につながり、製油所の稼働率が一時は半減する事態に陥った。国内のガソリン不足も招いている。ロシアによるウクライナ侵攻の影響で原油価格が急騰するなか、収益拡大の機会を生かせずにいる。

・ベトナムに製油所が2つあり、ニソン精油所は北部のタインホア省に位置する。日本が海外で主体的に運営する唯一の製油所。



2022/3/3 経済

*** 人民元、4年ぶり 高値圏…ロシア制裁で利用増も
中国株・国債に買い 輸出好調**

外国為替市場で中国の通貨・人民元の堅調ぶりが際立っている。米利上げ観測やウクライナ問題で新興国通貨が動揺するなか、対ドルで約4年ぶりの高値圏にある。背景には好調な輸出や国内資本への資金流入があり、対ロシア制裁が人民元の利用拡大につながるとの見方も出ている。

2022/3/3 東南アジア

*** 東南アジア主要銀、2桁増益…経済正常化や電子化 寄与**

2日までにそろった東南アジアの主要10銀行の2021年12月期決算は、全行が前年同期比2桁の増益となった。各国で経済の正常化が進んだ結果、貸出残高が伸びる一方、不良債権の処理費用は減ったためだ。デジタル化による経費の圧縮も利益を押し上げた。22年も増益基調が続く見通したが、不安定さを増す金融市場が波乱要因となる。

◎東南アジア主要銀行の2021年12月期決算(純利益、同期比増加率)

・シンガポール＝「DBSグループHD」純利5780億円(44%)、「OCBC」4130(35)、「UOB」3460(39)。
・インドネシア＝「BCA」2510(15)、「BRI」2460(64)、「マンデリ銀行」2240(66)。
・マレーシア＝「マヤン・バンキング」2230(24)、「パブリック・バンク」1560(16)。
・タイ＝「カシコン銀行」1330(29)、「サイアム商業銀行」1240(31)

2022/3/4 経済

*** 希少資源に調達危機…露・ウクライナ産7割依存「半導体ガス一部停止」**

露のウクライナ侵攻を受け、希少資源の調達懸念が世界規模で強まる。半導体製造に不可欠なネオンの7割をウクライナに、自動車の主要部品に使うパラジウムの4割をロシアに依存。既に陸海空の物流診断で供給が止まる例が出るなど、昨年から続く半導体不足に拍車がかかる可能性が高まる。世界的な供給網の混乱に自動車など幅広い産業が身構える。

2022/3/4 社会

*** 反ロシア 広がる世界…棄権35 親口国も様子見
国連決議に141か国が賛成「反対5か国」**

ウクライナを侵攻しているロシアに対する国際社会の批判が強まっている。国連総会が2日の緊急特別会合で採択した決議は、193か国の構成国のうち141か国の支持を集め、反対は5か国、棄権も35か国に留まった。決議に拘束力はないものの、ロシアへの風当たりの強さを示している。

◎「EU、輸入3割減可能」エネ 脱ロシア依存へ提言

・国際エネルギー機関(IEA)は3日、ロシアのウクライナ侵攻を受け、欧州のロシアへの依存を減らす対策を提案した。ロシア以外からのガス供給の拡大や原子力発電の活用、省エネを通じてロシアからの輸入を1/3以上減らせると分析した。

2022/3/4 経済

*** 北欧、NATO加盟の機運…揺れる「欧州」の定義
ウクライナ侵攻で危機感**

北欧のフィンランドとスウェーデンで北太平洋条約機構(NATO)への加盟を巡る論議が熱を帯びてきた。ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに安全保障上の危機感が高まっているためだ。一方、ウクライナが申請した欧州連合への加盟は慎重論が多く、すぐには実現しそうにない。

2022/3/4 経済

*** ホンダ・日産 プラスに…中国新車販売2月、10ヵ月ぶり**

ホンダと日産自動車は3日、2月の中国での新車販売実績を発表。ホンダは前年同月比30.1%増の10万6千台、日産は2.5%増の7万7千台だった。両社とも10ヵ月ぶりに前年実績を上回った。

・半導体不足の影響が和らぎつつあるほか、ハイブリッド(HV)車の販売が伸びた。

2022/3/5 東南アジア

*** 東南アジア新車販売、1月25%増**

東南アジア主要6か国の2022年1月の新車販売台数は、前年同月比25%増の24万9千台だった。

* 新型コロナの「オミクロン型」の感染が広がったが、各国は行動制限を控えており、新車販売も回復基調を維持した。本格的な影響が出る前の20年1月と比べても、若干上回る水準まで回復した。インドネシアが59%増、タイは26%増。



2022/3/5 東南アジア

*** ウクライナ侵攻 アジア企業に影…事業再考の可能性**

タイ食品CP「ロシアの畜産買収」、シンガポール・ウィルマー「油脂2工場停止」

アジアでは欧米企業のようにロシア関連企業のようにロシア関連事業から撤退する動きはまだ出ていないが事業の再考は求められる可能性がある。

◎**アジア企業のロシア・ウクライナ事業**

・CPフーズ(タイ)＝露で畜産会社を買収し畜産事業を拡大。・ウィルマー(シンガポール)＝ウクライナ南部の油脂工場の操業停止。・オラム(シンガポール)＝露&ウクライナから小麦の取引。・リオティント(英豪)＝露のアルミ大手と豪でアルミ精製。・ベトソフペテロ(ベトナム)＝露と合併。南シナ海で原油生産。・インド石油天然ガス公社＝露極東の石油ガス開発事業に出資。・プリタナ(インドネシア)＝露石油大手ロスマチと製油所建設

2022/3/6 経済

*** 物流まひ ロシア痛撃…コンテナ海路の大半 欧州で遮断
世界経済にも影響**

欧米を中心とした制裁の強化で、ロシアの物流がまひ状態に陥りつつある。EUの各国税関はロシア向け貨物に港湾を使用させず、同国のコンテナ取扱量の多くを占める海路が実質的に停止。希少資源や穀物の輸出に支障を来し、**部品や製品の輸入も滞った。ロシア経済は事実上世界から遮断されつつある。モノの流れが止まることで世界経済にも影響を与える。**

・早期停戦が実現しなければ世界経済の影響も大きくなる。

2022/3/7 経済

*** 企業の資金調達 日米欧で4割減…ウクライナ侵攻後1週間
投資家のリスク回避映す**

世界で企業の資金調達が停滞している。2月24日からの1週間で日米欧企業の社債と株式の発行額の合計は直前の1週間に比べて4割減った。同期間で新型コロナウイルス下を除けば過去20年で最も低い。ロシアへの制裁などによる世界経済の悪化を危惧し、**投資家がリスクを回避し企業投資への慎重姿勢が強まった。事態が長引けば脱炭素などに向けた企業の資金調達に影響が出かねない。**

2022/3/8 南アジア
(インド含)

*** インド中古車 AIで明瞭価格…取引台数、24年度に新車の2倍
カーズ24、東南アジアなど進出**

インドで中古車仲介企業が存在感を高めている。値付けの不透明さなどが中古車取引の課題だったが、カーズ24サービスなどのスタートアップがAIを使った価格決定システムを導入し、明朗価格を訴えて市場を開拓。中古車販売台数は新車の2倍程度の水準まで成長すると見込まれており、同様の課題を抱える東南アジアや中東進出の動きも出ている。

2022/3/8 社会

*** ロシア富裕層、国外逃避か…財閥、制裁から資産保全
小型ジェット機の出国急増**

ロシアがウクライナ侵攻を始めた2月24日の前後から、小型ジェット機によるロシア出国が相次いでいる。プーチン大統領を支えてきたオルガルヒ(新興財閥)など富裕層が、国内外の資産保全のために逃避した可能性がある。米欧はオルガルヒを対象にした制裁を通じ、プーチン政権の権力基盤の弱体化を狙う。

2022/3/8 経済

*** 反ロシア、サイバー義勇兵…デジタルも戦場 国境なき攻防に
鉄道網ハック、進軍阻止/ガスブロム攻撃に呼応**

ロシアのウクライナ侵攻に対しハッカーが相次ぎ「参戦」を表明している。ベラルーシの独裁政権に反発するハッカーらがロシアへのサイバー攻撃を表明する一方、ロシア側に立ち欧米への攻撃を掲げるランサム(脅迫)集団も出てきた。国の経済力と一体だった兵力の概念をデジタルに変え、秩序なきサイバー乱戦を招く恐れもある。

◎**民間のサイバー集団の参戦表明が相次ぐ**

ウクライナ側⇒「サイバーパルチザン」＝ベラルーシの独裁政権への抵抗組織

「アノニマス」＝日米や朝鮮など攻撃した匿名ハッカー集団

「ウクライナ国防省が募った有志メンバー」

ロシア側⇒「コンティ」＝700超の組織を攻撃したランサム集団

「クレーミングプロジェクト」＝南アフリカの政府組織を攻撃したランサム集団

「ロシア系サイバー犯罪集団(レッド・パンティック)」

2022/3/9 経済

*** 中国企業、ロシア事業苦慮…政府・欧米市場の板挟み
全人代 経営幹部ら沈黙**

ロシアのウクライナ侵攻で中国企業が対応に苦慮している。中国政府はロシアを非難せず国際社会の経済制裁にも反対しており、開催中の全国人民代表大会(全人代、国会に相当)の代表などを務める企業経営者はロシア事業の行方について口をつぐむ。ただ、取引のある欧米などとの関係悪化は避けたいため、難しい立場に陥っている。



2022/3/10 経済

*** 中国卸売物価0.5%上昇…2月前月比 資源高で4ヵ月ぶり**

中国の卸売物価指数(PPI)の上昇率が再び拡大の兆しを見せている。国家統計局が9日発表した。2月の前月比伸び率は0.5%で、4ヵ月ぶりにプラスになった。緊迫するウクライナ情勢などを背景に原油価格が上がり、石油の採掘や精製が物価を押し上げた。資源高は3月以降も続く可能性が高く、中国企業の利益を圧迫しかねない。

2022/3/10 経済

*** キャセイ航空、2年連続赤字…ゼロコロナ政策で苦境 同業と差 香港の地位低下も懸念**

香港のキャセイパシフィック航空の苦境が深まっている。9日発表の2021年の12月期決算は2年連続赤字となり、22年も厳しい見通しを示した。厳格な新型コロナウイルス対策や、香港の経済都市としての行方も左右される。業績が上向きシンガポール航空や貨物が好調な大韓航空など、アジアの同業との格差が鮮明になってきた。

2022/3/11 東南アジア

*** アジア風力 主役は欧州勢…競争激化 コスト低下も 独やノルウェー社、「洋上」に投資**

アジアの風力発電市場で欧州のエネルギー企業の攻勢が目立つ。ドイツのwpdが台湾で大型案件を獲得したほか、スペイン大手も数十億ドル(数千億円)の投資を計画する。脱炭素で再生可能エネルギーの導入機運が高まる中、特に洋上風力発電で先行する欧州で蓄積した知見を生かせるとの判断だ。競争の激化は再生エネの発電コスト低下にもつながりそうだ。

◎ アジアに参入した主な風力発電事業者(=進出国・地域)

- ・wbd(独) = 日、韓、台、越、比、インドネシア。・エクイノール(ノルウェー) = 日、韓
- ・イベルドラ(スペイン) = 日、韓、越、比。・RWE(ドイツ) = 日、中、印。
- ・マスタード(UAE) = 日本、インドネシア。

2022/3/11 東南アジア

*** 「小国」シンガポール危機感…年内にも次期首相選出 ウクライナ侵攻**

ロシアのウクライナ侵攻で国際情勢が緊迫し、大国のはざままで成長してきたシンガポールの次期首相選出に拍車がかかりそうだ。現職のリ・シェンロン氏は2月で70歳になった。後継者を選ぶ総選挙は25年前後になりそうだ。

「国際関係が『力』は正義』に基づくなら、シンガポールのような小国にとって世界は危険な場所になる」。ウクライナ危機について、危機感を示した。

・シンガポールは5日、ロシアの銀行4行との取引禁止、武器・通信機器の輸出禁止をはじめとする制裁を発表した。ロシアに対して控えめな姿勢を示すASEAN加盟国のなかでは厳しい措置だ。

2022/3/12 経済

*** 台湾IT、18%増収…2月 アップル新製品の恩恵(1台湾ドル=約4円)**

米アップルなど巨大IT企業に多くの製品や半導体を供給する台湾メーカーの2月の売上高は好調だった。アップルの新製品が3月に相次ぎ投入され、その恩恵を受けた。主要19社の売上高は前年同期比18.7%増えた。

◎ 台湾主要IT各社の2月の売上高(売上高、()内前年同月比増減率)

- ・ホンハイ(iPhone)4550億台湾ドル(13.2%)。・TSMC(半導体)1469(37.9)
- ・クアンタ(パソコン)906(13.2)。・ヘガトロン(iPhone)851(58.3)
- ・コンパル(パソコン)824(16.7)。・メディアテック(半導体)400(23.0)
- ・インラックス(液晶パネル)219(▲13.4)。・UMC(半導体)208(39.2)

2022/3/12 経済

*** 中国新車販売7.5%増…1~2月426万台 新エネ車・輸出好調**

中国汽車工業協会が11日発表した1~2月の新車販売台数は、前年同期比7.5%増の426万8千台だった。EVを中心とした新エネルギー車が伸び輸出も好調だった。ただ、輸出の今後の見通しは不透明。商用車は21.7%減。新エネ車の伸びは2.5倍の76万5千台だった。

・EV大手の比亞迪(BYD)は2.9倍だった。販売台数に含まれる輸出は41万2千台と75%増えた。

・「半導体や原材料不足」があるが、1~3月は緩やかな伸びはも込める。



2022/3/15 経済

*** ①半導体、3次元積層で進化…微細化の限界を超える**

TSMC、米大手などから受託「日本勢にも商機」

パソコンや高性能サーバーに用いる先端半導体の開発で、複数のチップを積み重ねて性能を高める3次元(3D)技術の重要性が増している。回路を小さく作りこんで集積度を高める「微細化」のペースが鈍る中、半導体の持続的な性能向上を担う。台湾積体回路製造(TSMC)、米インテルといった半導体大手や、日本の装置・材料メーカーなどが技術開発を競っている。

・「3D技術を搭載した製品をお届けできることに興奮している」――。

1月、半導体大手のアトハリスト・マイクロ・デバイス(AMD)が世界最大の技術見本市(CES)で発表したパソコン向けCPUに半導体業界の注目集まる。AMDは3D技術をサーバー向けCPUにも適用していく方針だ。

2022/3/15 経済

*** ②市場規模6兆円**

・大日本印刷は21年11月、従来のシリコン製に比べ量産効率が高い「RDL」(配線層)と呼ぶインターポーターの新技術を発表。従来のRDLでは難しかった線幅2 μ m(2 μ mは100万分の1)m以下の配線が可能。

・インターポーター上に配線を形成する際は、特殊な露光装置が必要で、さらに通常とは違う特性が必要。先端パッケージ向けではキャノンが市場シェアの大半を握っている。

・パッケージの再配線の形成などの使うレジスト(保護膜)はJSRと東京応化工業の2社が世界シェアの6割以上を持つ

2022/3/15 経済

*** マハース 中国でも加熱…当局警戒、規制強化も**

新興急成長、25年に6兆円市場

中国で仮想空間「マハース」の関連サービスが加熱している。2025年に6兆円超の市場が立ち上がるとの見方があり、少なくとも1500社超が関連商標登録を出願した。特に**侵攻企業の参入が活発で、アバター(分身)による交流などのサービスが人気だが、急ごしらえで頓挫する例も多い**。当局は加熱ぶりを警戒しており、今後規制が強まる可能性がある。

2022/3/16 社会

*** IT大国ウクライナ …企業、アプリ開発で抵抗**

「ロシアの監視防止」ソフト、戦況発信や支援呼びかけ

ロシアの侵攻を受けるウクライナでスタートアップ企業がアプリ開発などの技術を使い抵抗運動を続けている。ウクライナは約30万人のIT技術者を抱え、近年は海外企業の開発委託先として注目されていた。テクノロジー人材が戦争下での情報供給や発信を側面より支える。

・ウクライナ企業のマックホーのアレクサンドル・コソバCEOはキエフの本社に残る傍ら、チームを国外や西部のイワフランクフスクの事務所に移すなどして事業を続けた。技術者はどのアプリがロシアとつながっているか確認できる「監視防止」のソフトを作成。避難時に充電が難しいiPhoneの電池消費を抑えるソフトを作ったり、**正しい戦況を共有できる無料のVPN(仮想私設網)を開発したりした。ウクライナの実際の映像を使った動画を共有して反戦を呼びかけ、ユーザーに拡散を呼びかけた。**

2022/3/16 医薬

*** 医薬品受け取り コンビニ容易に…顧客、ネットで購入/店はIT管理**

改革会議提起 厚労省反対、攻防も

政府は15日の規制改革推進会議で、風邪薬や頭痛薬などの一般医薬品をコンビニエンスストアで入手しやすくするための議論を始めた。要件が厳しくて販売店舗を増やせない現状を踏まえ、オンラインで購入した薬を店舗で受け取る新たな仕組みを提起した。岸田文雄首相が掲げるデジタル技術を使った規制改革に沿う動きだが、厚生労働省は反対する。政府内の攻防が予想される。

・**医薬品を売る現場で知識や経験のある管理者が安全を担保することが重要と考えている厚生労働省。ドラッグストアが少ない地方では恩恵が大きい。**

2022/3/16 東南アジア

*** ミャンマー ガス制裁に穴…EU発動、欧米企業相次ぎ撤退**

■韓国大手が追加投資 ■タイ公社は操業続く

クーデターを起こした国軍の統制下にあるミャンマー石油ガス公社(MOGE)に対し、欧州連合(EU)が踏み切った制裁の実効性に疑問を投げかける。天然ガスは同国最大の外貨獲得源で、欧米企業は相次ぎ撤退を表明する一方、韓国のポスコインターナショナルが追加投資を決めるなど国際社会は一枚岩でない。包囲網は不完全で、MOGEへの資金流入が続く。

・韓国鉄鋼大手ポスコ子会社で、ポスコインターナショナルはミャンマー西部沖にあるシェェーガス田に51%出資。産出したガスの多くは中国に輸出されるが、**一部は国内の発電所にも供給され、途絶えれば市民が被害を受ける。**

・**タイは国内の天然ガス需要の15%をミャンマー産に依存。生産が止まればタイの産業への影響が懸念される。**



2022/3/16 経済

*** 中国生産7.5%増 消費上向く…景気回復も持続力課題(1~2月)**

中国経済が年明けから持ち直しの動きを見せた。生産や小売売上高の前年同期と比べた増加率は、1~2月期が2021年12月を上回った。半導体の不足感が薄れた自動車が押し上げた。3月に入り、新型コロナウイルスの感染が急拡大。ロックダウンなど強力な規制が重荷になり、**景気回復が持続するかどうかは不透明。**

・生産は前年同期を7.5%上回った。自動車が1割超、伸びたほか、設備投資の拡大に伴ってロボットが3割増えた。

2022/3/16 経済

*** 次世代ネット 新興投資熱く…gumi、海外で130億円ファンド
「ウェブ3」へ照準 米国には出遅れ**

ブロックチェーンを活用した次世代型インターネット「Web(ウェブ)3」事業を手がけるスタートアップへの投資が広がってきた。Gumiは海外にファンドを新設し、130億円規模で本格運用を始めた。国内では資金調達に使われるトークン(電子証券)への出資が税制や規制のため難しいという課題もある。米国のベンチャーキャピタル(VC)などには水をあけられている。

・注目度が集まるウェブ3だが、成長途上なだけに慎重な意見もある。VCのインキュベイトファンドの本間真彦代表パートナーは「**サービスや事業の本質的な付加価値にまだ納得感はない**」という。

2022/3/16 経済

*** 石油メジャー、EVで転身…迫る脱ガソリン、将来像模索
BP「法人開拓へ新興買収」、シェル「充電設備を50万基**

給油所を取り巻く環境が厳しさを増している。国内ではガソリン需要が落ち込み、全国の給油所数は1990年代のピークから半減。電気自動車(EV)が急速に台頭する欧米では石油メジャーがいち早く将来像を探る。急激な脱ガソリンのうねりにどう対応するのか。

・各社の事業=①給与所(EV・水素・充填拠点)、コンビニ運営。②EV充電器の開発。③EV充電網の管理。等

・「コダック・モメント」…写真用フィルムで成功を収めた米イーストマン・コダックはデジタル化の波に乗り遅れ破綻した。乗り遅れば、給油所の未来無し

2022/3/16 経済

*** 米、中国半導体に禁輸も…支援発覚なら**

バイデン政権は14日の中国との高官協議で、同国によるロシア支援に懸念を示した。**米国の経済制裁に違反してロシアと取引すれば、中国の半導体大手に禁輸措置を講じる可能性がある。**ロシアのウクライナ侵攻以降バイデン政権はロシアの特定の企業や銀行と、貿易や金融の取引を禁じた。違反した米国企業や米国人も罰する「二次制裁」が、中国のロシア支援への抑止力となるかが焦点だ。

・禁輸措置は威力が大きい。レモント商務官は8日、「**我々は(中国の半導体受託生産最大手)中芯国際集成电路製造(SMIC)を事実上閉鎖することができる**」と語った。

2022/3/17 社会

*** ロシア、侵攻長期化に焦り…プーチン氏側近、誤算認める
政権内に揺らぎも**

ロシアのプーチン大統領がウクライナへの侵攻の遅れに焦りを強めている。13日にはプーチンの側近が侵攻計画で誤算があったことを認めた。政権内では**軍幹部や治安・情報機関出身者の失脚が相次ぐほか、プーチンを支える新興財閥からも不満が指摘される**なか、作戦のさらなる長期化が政権内の揺らぎにつながるリスクをはらむ。

新興財閥、くすぶる不満「一部は政権批判踏み切る」…プーチン政権を支えてきたオリガルヒ(新興財閥)もウクライナ侵攻を巡って不満を強めている。今回の侵攻で米欧の制裁を受ける立場になったためだ。だが、ほとんどのオリガルヒは沈黙を保つ。反逆行為とみなされる政権批判のリスクはあまりにも高い。

2022/3/17 経済

*** 中国マンション 回復遅れ…新築価格、6カ月連続下落「2月」
中小都市で低迷 販促効果見えず**

中国マンション市場の回復が遅れている。主要都市の新築物件は2月まで6カ月連続で値下がりがし、1~2月の住宅ローン組むのをためらう消費者も少なくない。**地方政府はマンション売上の促進策を打ち出したが、効果が表れるまで時間がかかりそう**だ。

・昨年に続き、春節時の帰省を諦める人が多く、中小都市の不動産企業の打撃となった。



2022/3/17 東南アジア

*** シンガポール企業 環境技術を輸出…「実験都市」世界で商機**
STエンジ「ブラジルでスマート街頭」、サンシーブ「インドネシアで水上太陽光」

政府の旗振りのもと環境技術の実証実験を推進してきたシンガポールの企業が、海外での事業化に相次ぎ乗り出している。政府系防衛機器メーカーがブラジルで都市環境保護のインフラとなる「スマート街頭」プロジェクトに参画。水上太陽光発電所でインドネシア進出を狙う企業もある。「実験都市」が未来のショーケースとして世界の注目を集めている。

◎ **様々な企業が先進技術の実証実験に取り組む**

▼STエンジニアリング＝スマート街頭(ブラジルで通信部分受注)、自動運転バス(実験中)、ドローンで物質配達(実験中)。▼サンシーブ・グループ＝水上太陽光発電(インドネシア進出へ)。▼セムコプ・インダストリス＝水上太陽光発電(国内で稼働)。▼ケッパル・コーポレーション＝水上データセンター(国内で事業化)▼ムービタ＝自動運転ミニバス(国内、マレーシアで実験中)

2022/3/18 経済

*** 韓国勢、EV電池材も増産…「川上」強化で中国勢追う**
ロッテ系、1600億円で米韓に工場

韓国素材大手が電気自動車向け電池材料の増産を急ぐ。ロッテケミカルは1600億円規模を投じて韓国や米国で電解液などの工場建設をめざす。LG化学やホスコムも増産を表明。韓国勢はLGなど電池大手3社が活発な投資計画を持つが**川上分野の電池材料については中国勢に遅れを取っている。素材各社も供給能力を高めて中国に対応する。**

・韓国勢は車載電池では大手3社で世界で1/3を占めるものの、電池材料では後れを取っているのが現状だ。

2022/3/18 経済

*** EV販売 中国勢ずらり…2位上海汽車、格安車で**
昨年トップ20に12社入り、国策が後押し

2021年のEV販売台数をメーカー別に集計したところ、上位20社・グループ中12社が中国勢となった。2位の上海汽車集団は米ゼネラル・モーターズ(GM)との合弁で格安車「宏光MINI EV」をヒットさせ、4位の比亞迪(BYD)も勢いづく(「漢」(約400万円)売上2.4倍)。中国は国策でEVを後押しする。首位の米テスラは中国市場がけん引。トヨタ自動車は29位で存在感は薄い。

・上海汽車が50.1%出資の上汽通用汽車が開発・製造し、価格約50万円、地方都市でヒット。BYDは21年のEV販売291万台と世界の6割超を占有。

2022/3/19 社会

*** ウクライナ、人道危機深刻…南東部マリウポリ、避難の劇場標的**
プーチン氏は「真の悪党」 バイデン氏、非難強める

ロシアが侵攻したウクライナで人道危機が深まっている。南東部の港湾都市マリウポリは水や電力の供給が滞り、16日には数百人の市民が避難していた劇場が空爆された。**バイデン米大統領はロシアのプーチン大統領を**

「人殺しの独裁者」と呼び、ウクライナに地对空ミサイルを間接供与する方針。ロシアとの対立が一段と深まり、和平に向けた今後の多国間の外交努力にも影響しそうだ。

2022/3/19 社会

*** ウクライナの駐ポーランド大使(アンソリー・デツァ)…停戦協議で「ロシア軟化」**

ロシアとの停戦協議では「ウクライナの安全保障の枠組みづくりが重要だ」と話す。協議で「ロシア側が軟化してきた」と指摘し、戦闘での損害が大きく「戦争を早く終えたくはないか」と推測した。「ロシア側の態度が変わってきた」、「『非ナチス化』を最近言わなくなってきた。ロシア軍の被害が大きいのだと思う」と指摘する。

・米欧はロシアに厳しい経済制裁を発動した。「ロシア経済が悪化すれば、国民も新しいリーダーを求めよう」と述べ、ロシアの世論がプーチン政権に圧力を高め、停戦協議での譲歩に繋がる状況に期待を示した。

・**ウクライナ政府の基本方針は「領土問題で妥協はしない」と述べた。**

2022/3/19 経済

*** 上海迪士尼 入場制限…「コロナの影響 再び広がる**

新型コロナウイルスの感染が上海市など中国の大消費地を直撃している。感染を封じ込める政府の「ゼロコロナ」政策のもと、上海迪士尼リゾートが入場制限を再び強化するなど影響が深刻になる。世界各地で感染が再拡大する中、中国でも観光や外食各社の業績回復の重荷になっている。

・**ヤム・チャイナ1100店営業縮小(ケンタッキーやピザハットなど)**



2022/3/19 社会

*** 侵攻ロシア、市民生活に影…生活3割安 食品など急騰**

ウクライナに侵攻したロシアで市民生活への影響が広がっている。経済制裁による通貨安に加え、モノ不足を懸念した市民が買いだめに走り、インフレに拍車をかけた。ロシア中銀は18日の金融政策決定会合で、2月末に20%に引き上げた政策金利を据え置いた。時間がたつほど制裁の打撃も深まりそうで、さらなる物価上昇が予想される。

2022/3/22 社会

*** ロシア、侵攻批判封じ込め…戦局停滞 国内統制強く
プーチン氏「裏切者は浄化」**

ロシアで言論統制が強まっている。プーチン大統領はウクライナ侵攻に反対する国民を「裏切者」と断じて徹底排除する方針を示した。当局は「偽情報」に最大で懲役15年を科す法律に基づく摘発を始め、米欧系SNSの遮断を急ぐ。戦局の停滞が指摘されるなかで批判の封じ込めに躍りで、恐怖政治への回帰が一段と進むとの懸念が広がる。

・「戦時下沈黙を強制」国民に発信を続ける構え…ロシアの独立系インターネットメディア「ドゥーザ」のガリーナ・ティムチェンコ代表はオンライン取材で「戦時統制下で独立した意見がほぼ封じられ、沈黙を強いられている」「虚偽の情報」を広げた場合に最大15年の懲役を科す改正法が成立し記者20人をロシアから退避させた。過去の寄稿者も拘束の脅威にさらされる。

2022/3/23 経済

*** 香港財閥、中国不動産に的…恒大など経営難 隙突く
「共同富裕」なおリスク**

香港の大手財閥が不動産不況下で積極投資に動いている。新世界発展やスワイヤパシフィックは相次ぎ中国本土で新しいプロジェクトに乗り出す。中国恒大集団などが経営危機に陥るスキをつき、財務力を武器に事業拡大を狙う。攻めの戦略は「共同富裕」の名の下に監視を強める中国当局との関係が潜在的なリスクとなる。

2022/3/23 社会

*** 中国軍勢力、日米を逆転…「海上の優位、2030年に失う」
台湾有事 懸念高まる**

ロシアのウクライナ侵攻を機に、日本周辺の安全保障への関心が高まってきた。日本は日米同盟を根拠に自衛隊と米軍による防衛体制を築く。中国と日米の軍勢力の逆転が近づいており、米国は東アジアなどで「2030年ごろには海上での優位が崩れる」と警鐘を鳴らす。

◎東アジアの各国・地域の戦力

(→・第4・5世代戦闘機 艦・艦艇(万ト) ミサイル発射機(機))

中国→1146、艦212。ミ94(大陸間)、ミ254(中距離・準中距離)。

台湾→325、艦20.5。韓国→245、艦26。在韓米軍→60。

日本→313、艦51。

米7艦隊→50(戦闘機計)。米国→ミ400(大陸間)

2022/3/24 社会

*** 防衛費、日本は中国の1/5…ロシアの侵攻後、欧州は増額相次ぐ
装備や戦略、検討急務**

ロシアのウクライナ侵攻を受け、防衛費や軍事費を増やす国が相次ぐ。国内総生産(GDP)比で1%台を維持してきたドイツは2%以上にすると発表した。東アジアでは中国の軍事費が日本の防衛費の5倍超に達する。日本も今年末までに防衛費の増額や装備、戦略の拡充を検討する。

2022/3/24 経済

*** 中国、インドに圧力強化…パキスタンに戦闘機など売却
東西からゆさぶり狙う**

中国がパキスタンに戦闘機などの売却を進め、軍事面での連携を強めている。国境の係争問題で対立するインドに東西から揺さぶりをかける狙いがある。米欧がウクライナ情勢に傾注している間に南アジアでの影響力拡大を狙っているとみられる。

◎中国、インド、パキスタンの関係(パ=パキスタン、印=インド)

パ→中国=テロ対策で協力、中国→パ=4・5世代型戦闘機を供与

パ→印=中国と共同開発ステルス配備、印→パ=ロシア製地对空ミサイル強化

中国⇄印=「国境係争地問題」で対立



2022/3/24 経済

*** テンセント、「非ネット」軸足…製造業・飲食に積極出資
規制避け成長領域開拓「投資会社の色強まる」**

中国のネット大手、テンセントが半導体など製造業や飲食店への出資を積極化している。プラットフォームとして君臨してきたが、ネット以外の産業への注力を鮮明に打ち出し、当局の厳しいネット規制や社会からの「もうけすぎ」批判をかわす。本業のネットサービスの成長力が鈍る中、投資会社として新たな成長領域を探る意味もありそうだ。

◎ テンセント出資の主な「非ネット領域」企業

・長鑫存儲技術＝国策の半導体メモリーメーカー、・北京神藍晶微生物科技＝環境配慮型の素材開発を手がける、・豊翼科技(深圳)＝物流大手のドローンメーカー、上海花橋餐飲管理＝麵屋チェーン「馬記永」展開

2022/3/24 経済

*** 燃料電池車 5万台目標…中国、バス・物流普及で25年に**

中国政府は23日、水素エネルギーの中長期発展計画を発表した。2025年に水素を使う燃料電池車(FCV)の保有台数で5万台を目標とし、バスや物流などで普及を進める。国際的な連携を後押しするとともに、広域経済圏構想「一帯一路」の沿線国でのインフラ建設なども検討する。・「30年より前に二酸化炭素排出量をピークアウトさせ、60年までに実質ゼロにする」という目標達成に向け、水素を国家のエネルギーシステムの重要部分に位置づけた。

・25年に水素エネルギーの重要技術の掌握、FCVの5万台目標。30年には水素エネルギーの技術革新のシステム構築。脱炭素の目標に貢献。35年には交通や畜エネルギー、発電、工業分野で活用

2022/3/25 経済

*** 中国5G投資 ピーク越え…通信大手3社 22年12月期減少**

中国国有通信大手3社の香港上場子会社の2021年12月期決算が23日発表があり、いずれも増収増益だった。基地局整備を中心とする3社合計の投資額も3期連続で増えた。中国政府が普及に力を入れてきた高速通信規格5G向けはピークを迎え、22年12月には減少に転じる。・21年12月期の投資額は3社併せて期比2%増の3億元(約6.4兆円)。中国移動が5G向けを11%増、1140億元。中国電信は3%減。中国聯合網洛通信も中国電信に近い水準だった。

2022/3/25 社会

*** ウクライナ「中立化」焦点…オーストリア型「永世中立国」
スウェーデン型「軍事非同盟」**

ロシアとの停戦協議で、ウクライナの「中立化」が大きな焦点になってきた。同国はすでに北大西洋条約機構(NATO)加盟を断念したもようだが、中立化の条件として米国を含めた多国間での安全の保障を求める。ロシア側は中立化のモデルとしてオーストリア、スウェーデンをあげ、ウクライナ側に譲歩を迫っている。

2022/3/27 社会

*** ロシア、焦りの戦力修正…首都制圧の目標
各地で苦戦、東部掌握を優先**

ウクライナ侵攻で苦戦を強いられているロシアが軍事戦略を変更したとの見方が浮上している。ロシア軍幹部が25日、ウクライナ東部2州の制圧を優先する姿勢を示したためだ。ウクライナ首都キエフを早期に制圧し、新欧米派のゼレンスキー大統領を退陣させる当初のシナリオの変更を迫られている。

2022/3/27 社会

*** 米、核使用の厳格化見送り…対ロシア抑止力維持**

バイデン政権が新たな指針である「各体制の見直し(NPR)」をほぼ完了し、同盟国に結果をこのほど伝えた。

・「極限の状況においてのみ使用を検討する」との現在の方針を堅持。

・核兵器の厳格化の見送りを決めたことで、核兵器だけでなく、生物・化学兵器や大規模な通常兵器による攻撃に対しても核兵器で反撃する選択肢を留保する。核による先制攻撃も完全には排除しないと解釈できる。厳格化の見送りは核軍縮が遠のくことを意味する。

2022/3/28 経済

*** 中国、国際貨物列車を支援…ユーラシア横断、戦争保険を負担
ロシア経済の支えにも**

中国はユーラシア大陸を横断し、ロシアや欧州と結ぶ国際貨物列車「中欧班列」の支援に乗り出した。荷主の費用となる戦闘で被害を受けた際に補償を受けられる「戦争保険」について、地方政府傘下の運営会社が負担。一部運賃を約2割値下げする動きもある。約半分は中口間の貨物であり、米欧の経済制裁にあえぐロシア経済の下支えにつながる。

・中国全土の約70都市と欧州の23カ国約180都市を結び、21年は約1.5万本が運行された。ロシアが半分。電子製品、機械、自動車部品が多い。



2022/3/29 経済

*** 水素・アンモニア 貯蔵整備支援へ…経産省、商用化加速へ検討
インフラ集約 効率利用**

経済産業省は燃焼させても二酸化炭素(CO₂)が出ない水素やアンモニアの供給構築に向け、支援策の検討に入った。アンモニアなどを海外で製造し日本で効率よく利用するため、需要が見込める地域に貯蔵インフラを集約させることを目指す。従来の化石燃料より価格が高く利用が進まない課題への対策も議論する。

- ・供給網はまだ確立できていない。今の技術では主に天然ガスや石炭を原料として海外で水素やアンモニアを製造し、それを液化して日本へ運ぶ。
- ・日本が早期の投資に踏み切らなければ、水素やアンモニアの供給に支障が生じ脱炭素で後れを取ってしまいかねない。

2022/3/29 経済

*** 北米西海岸LNG 中国・日本に照準…アジア需要増で安定供給
米エネ大手など、パナマ混雑回避**

中国や日本などアジアへの出荷を担う液化天然ガス(LNG)事業が北米西海岸で相次いでいる。米センプラ・インフラストラクチャーは2024年にもメキシコで生産を始める。LNG需要はウクライナ危機により欧州で逼迫しているが、アジアでも拡大する。混雑するパナマ運河を通らない西海岸からの出荷が増えれば、アジアのエネルギーの安定調達につながる。

- ・英シェルによるとアジアのLNG需要は40年までに年5億トンを弱にほぼ倍増し、世界全体の需要量7億トンのうち7割を占める。中国に続き、今後は東南アジアでも拡大。東南アジアの輸入量は40年には20年比1億トン近く増える。注目されているのが、北米西海岸の事業だ。

2022/3/29 経済

*** ファーウェイ最高益(前期最終)…低価格スマホ事業売却で**

ファーウェイが28日発表した2021年12月期決算は、純利益が前の期比76%増の1137億元(約2,2兆円)だった。米国の制裁などにより売上高は6368億元と29%減ったが低価格スマホ事業の売却益などで最高益となる。

- ・「規模は小さいが収益力は強まり、不確実性への対応力が向上している」と孟晩舟CFOが説明。消費者向けは50%減、通信会社向けは7%減、クラウドサービスなど法人向けは2%増だった。

2022/3/29 東南アジア

*** 東南アジア新車販売26%増…2月 燃料比上昇、逆風も**

東南アジア主要6カ国の2月の新車販売台数は、前年同月比26%増の24,9万台だった。前年実績を上回るのは5カ月連続。市場の大きいインドネシアとタイが押し上げた。足元では各国の燃料費が上昇、新車販売に逆風となる可能性がある。

- ・インドネシアは65%増の8,1万台で12カ月連続プラスとなった。オミクロン型の感染拡大したが、政府は厳しい行動制限控えたため、好調が続いた。タイは26%増の7,4万台と2カ月連続で増えた。トヨタは新車販売の3割を占め、57%増加。

2022/3/30 東南アジア

*** タイーロス 貨物網計画…中国「一帯一路」取り込み
国境近く 物流拠点開発相次ぐ**

タイとラオスの境界で、貨物輸送網の整備計画が動き出した。中国の「一帯一路」構想下で同国とラオスを結ぶ高速鉄道が開通したことで機運が高まり、政府や国営企業による物流拠点などのインフラ建設や貨物列車の増便が進む。巨大な中国市場の取り込みも急ぐ一方、タイへの延伸計画が進まないなど課題も残る。

2022/3/30 経済

*** 「アジアの優等生」つまづく…コロナ感染急増
中国・封鎖で経済打撃、韓国・規制緩和で急転**

「優等生」とも称されたアジア諸国で感染が急拡大している。厳しい「ゼロコロナ」政策を採用している中国では28日、1日あたりの新規感染者数が6886人となり、武漢で感染爆発が起きた2020年2月以来の高水準。死亡率は低いが、韓国やベトナムでも感染者数が高水準になっている。

*** 上海新規感染が最多…市政府 中小・零細支援、2.7兆円**

28日は977人増の4477人と連日で過去最多を更新。無症状感染者が4381人。自覚症状がないため、早期発見が難しく、拡大が止まらず。約1400億元の経済支援策を公表。

2022/3/30 医薬

*** 武田、負債返済1000億円増額…今期、計画比2割増「財務改善を」**

武田薬品工業は2022年3月期の有利子負債の返済額を積み増す。計画比1000億円(約2割)多い5500億円返済する。前期の返済額(4700億円程度)より増やす。アイルランド製薬大手シャイアーの買収で武田の負債は高水準にある。金利の先高観もあるなか、好調な消火器系疾患治療薬などで稼ぐキャッシュを原資に財務改善を急ぐ。



2022/3/31 社会

***プーチン氏 侵攻で「緊張」…ストレス、平時の4割増『声で心理分析』**

ロシアによるウクライナ侵攻から1か月がたった。日経新聞はプーチン大統領の演説などの音声解析し、本人の心理状態を探った。プーチン氏のストレスの値は軍事行動の数日前から平時よりも高まり、侵攻後も緊張状態が続いていたことが見て取れる。米欧に追い詰められて対ロ制裁対策を協議する政府会議を開いた10日には**ストレス値が極度に高まり、平時の4割以上に増えた。**

2022/3/31 経済

***小麦高騰 迫る「夏の崖」…ウクライナ・ロシアで収穫減
世界経済、下押し要因に**

夏場に向け小麦の価格が一段と上昇するとの懸念が強まっている。輸出大国であるウクライナとロシアで収穫が落ち込み、世界への供給が減少する可能性があるためだ。小麦の国際価格は3月上旬、約14年ぶりに最高値を更新した。足元では下落しているが、他の輸出国の天候要因なども加われば再び上昇するリスクがある。**エネルギーに加え食料インフレが加速すれば世界景気を下押しする要因ともなる。**

2022/3/31 社会

***ロシア軍、戦闘「泥沼化」…短期決戦の目算外れ『雪解け、進軍阻む』**

ロシア軍は侵攻したウクライナでの作戦を一部、縮小する方針(ロシア国防省)。想定を超えて戦闘が長引いたことで、春の訪れとともに雪解け水で地面がぬかるみ、戦車を主体とする地上軍の移動が滞っているもようだ。米欧側の情報によると、ロシア軍の補給が不調で、兵士の士気も上がらない。文字通り「泥沼」にはまりつつある。
・穀倉地帯は豊富な水量が必要。戦車は舗装された道路しか使用不可。食糧等の補給を立つには、これ狙えばよい。待伏せ作戦が効果あった。

2022/3/31 経済

***音声AI、中国車が主戦場…380億円投じ開発拠点
中国アイフライテック、供給3割増**

中国で人工知能(AI)を使った自動車向け音声認識システムのシェア争いが激しくなる兆しを見せている。地元大手の科大訊飛(アイフライテック)は2022年の搭載台数を前年比3割増やす一方、世界最大手の米セレンスも海外メーカーとの取引実績をひっさげ切り込む姿勢を見せる。**世界最大の自動車市場のある中国での技術進化が世界標準になりつつあり、覇権争いの勝者が次**

